

差しのべるべき手

第一鹿屋中学校 2年5組 西 咲良

「あんた、どこん子ねい。」

私の地域には、お年寄りがたくさんいる。歩いていたりといつもこうやって話しかけてくれる。優しいお年寄りばかりだ。お年よりと話すのはとても楽しい。だから、お年寄りは様々な問題を抱えている。なので、私は、高齢者問題の1つである介護の問題についてたくさんの人に知ってもらいたい。そして、自分達に出来ることについて話そうと思う。

第一鹿屋中学校

私が、高齢者問題をたくさんの人に知ってもらいたいと思っ、たきかけは、以前、祖母と話しているおばちゃんに会いさつをした。これとだ。しかし、返事が返ってこなかった。私にはあissaつをしていないふりをした。祖母がおばちゃんとの話を終えた時に、さっきあissaつしてたけど、あのおばちゃん耳が聞こえなくて、近くで話さないと聞こえないんだよ。だから悪気は無いんだからね。

と言った。私は、このおばちゃんに聞えてい
るけど、祖母と話しをしていて、聞こえない
いふりをして、冷めた人なんだ。と勝手に思
っていた。しかし、違っていた。あのおばちゃん
んは聞こえていなくて、悪気は無かったのに
勝手にあいつをしない冷めた人だと思っ
てしまった。もしこのままあのおばちゃん
耳が聞こえないことを知らなかったら、また
会った時に私はどうせ返事は返してこない
と思いきい、あいつをしなかつた。ただ、今

第一鹿屋中学校

は、あのおばちゃんに耳が聞こえないことを
知っている。だから、また会った時はおばちゃん
んの近くに行つて、少し大きな声であいつを
しようと思つた。このことから私のように誤
解している人はたくさんいるのではないかと
思つた。それを少しでも減せるように高齢者
ほど、どんな問題を抱えているのかを知りたくな
った。そして、介護の問題について深く考える
ことにした。介護の問題はたくさんあるが、そ
の中でも三つの事に注目して調べることにし

た。

まず、一つ目は老老介護である。老老介護とは、65歳以上の高齢者を65歳以上の高齢者が介護している状態のことだ。老老介護がなぜ問題なのかと言うと介助の一つ一つに時間がかかり介護さいる側も不安定な姿勢が続くなど負担に感じることが多くなり移動時などに要介護者の体をうまく支えることが出来ず転倒などの事故につながる危険性もあるからだそうだ。

第一鹿屋中学校

二つ目は、介護難民である。介護難民とは介護が必要なのに介護サービスが受けられず困っている人のことだ。在宅介護をしてくゆる人がいないだけではなく病院や介護施設でも受け入れてもらえないため介護サービスが受けられなないのだ。

最後に、高齢者の一人暮らしである。高齢者の一人暮らしで特に心配なのが認知症と孤独死だ。認知症になっってしまうと、一人で日常生活を送ることが難しくなる。また、認知

症になることで近隣住民とトラブルを起こしたり犯罪や事故などに巻き込まれてしまう危険性もある。そして、孤独死を不安に思い、身の高齢者の入居を断る大家もいる。だから高齢者の住む家が無くなってしまうのだ。

私は、この問題を減らすため、デイサービスやお年寄りの方達が気軽に話をしたり、相談し合える場所を増やすべきだと思う。それに、一人暮らしの高齢者の方は寂しい思いをして、いる人や家族にめいやくをかけたくないと思っっている人がいる。そんな人達のために今の私達、若い人達が出来るとは、このお年寄りの方達に住みやすい環境を作っていくことでははないのだろうか。そして、もっとお年寄りの方達の考えや接し方など、考えてみる。ことが大切だと思う。この先、このようない問題が減り、皆が住みやすい世の中になっていったら良いと思う。

第一鹿屋中学校